

# 尼崎市の歴史文化をもっと知るには・・・

**尼崎市立歴史博物館**  
 所在地：尼崎市南城内 10 番地の 2  
 開館時間：午前 9 時～午後 5 時  
 休館日：月曜日（祝日の場合は直後の平日）  
 12/29-1/3  
 問合せ：06-6489-9801  
 ホームページ：[https://www.city.amagasaki.hyogo.jp/manabu/bunkazai\\_0/](https://www.city.amagasaki.hyogo.jp/manabu/bunkazai_0/)



**尼崎市立田能資料館**  
 所在地：尼崎市田能 6-5-1  
 開館時間：午前 10 時～午後 5 時  
 休館日：月曜日（祝日の場合は直後の平日）  
 12/29-1/3  
 問合せ：06-6492-1777  
 ホームページ：[https://www.city.amagasaki.hyogo.jp/manabu/104ama\\_tano/](https://www.city.amagasaki.hyogo.jp/manabu/104ama_tano/)



**6 地区の生涯学習プラザ**  
 歴史文化を含む教育、そのほかの生涯学習の拠点、自治のまちづくりを支える拠点として、市内 6 地区に 12 箇所の生涯学習プラザがあります。  
 各プラザの位置は下のマップを参照して下さい。

- |  |                                 |
|--|---------------------------------|
| 中 ①中央北生涯学習プラザ<br>央 ②中央南生涯学習プラザ             | 立花 ⑦立花北生涯学習プラザ<br>花 ⑧立花南生涯学習プラザ |
| 小 ③小田北生涯学習プラザ<br>田 ④小田南生涯学習プラザ             | 武庫 ⑨武庫東生涯学習プラザ<br>庫 ⑩武庫西生涯学習プラザ |
| 大 ⑤大庄北生涯学習プラザ<br>庄 ⑥大庄南生涯学習プラザ<br>(旧大庄村役場) | 園田 ⑪園田西生涯学習プラザ<br>田 ⑫園田東生涯学習プラザ |

**歴史博物館デジタルアーカイブ**  
 「歴史博物館デジタルアーカイブ」では、尼崎市内の指定文化財・登録文化財、市が所蔵する古文書や絵図、地図、写真等の貴重な資料を、デジタル化して公開しています。  
 ぜひご利用ください。  
 URL：  
[https://jmapps.ne.jp/amagasaki\\_museum/](https://jmapps.ne.jp/amagasaki_museum/)



**地域研究史料室 “あまがさきアーカイブズ”**  
 尼崎をはじめ、各地の歴史を知りたい、調べたい、勉強したいという方は、どなたでも自由に利用できます。職員が相談に応じます。



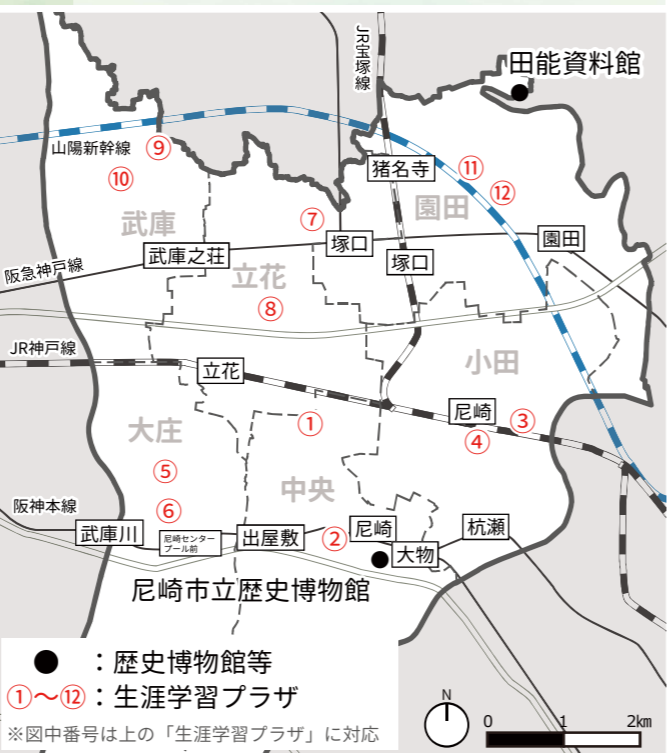
**歴史資料修復ワークショップ**  
 市が所蔵する近現代資料の修復作業を行うワークショップを開催します。原則月 2 回の開催となりますので、各日随時参加者を募集しています。



**文化財サポートボランティア**  
 歴史博物館で、考古学の基礎的知識と土器の洗浄方法等に関する研修を受講してから、学芸員と協働で考古資料などの洗浄・整理作業を行っています。



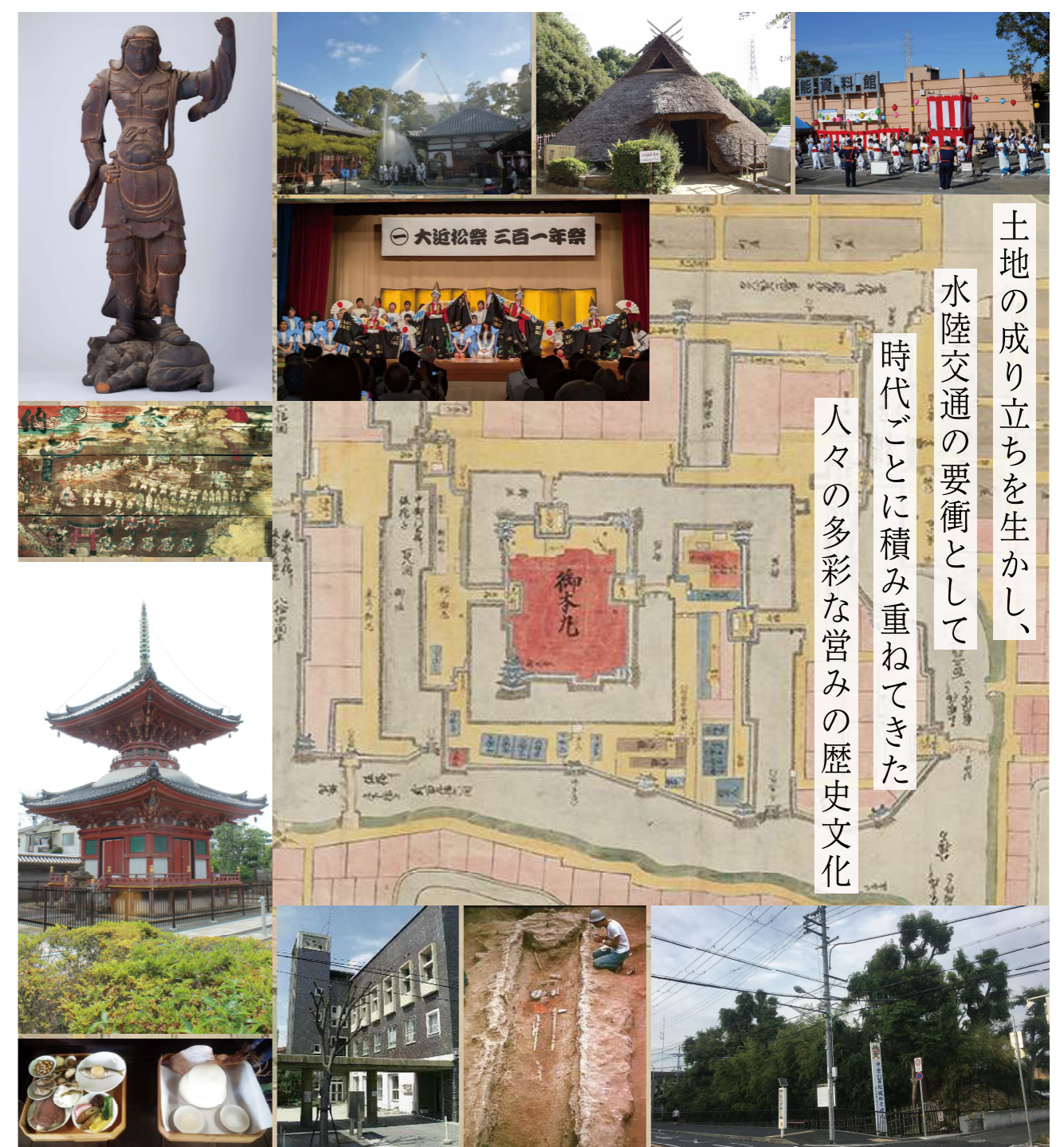
**れきし体験学習ボランティア**  
 歴史博物館を拠点に、藍や綿等の教材植物の栽培活動、研修と実習に参加して、博物館や市内の小学校等での体験学習事業に取り組んでいます。



尼崎市の歴史文化が学べる施設 MAP

# 尼崎市文化財保存活用地域計画

【概要版】



土地の成り立ちを生かし、  
 水陸交通の要衝として  
 時代ごとに積み重ねてきた  
 人々の多彩な営みの歴史文化

## 尼崎市文化財保存活用地域計画 【概要版】

令和 7 年 (2025 年) 12 月認定  
 尼崎市教育委員会

尼崎市教育委員会

# 尼崎市文化財保存活用地域計画を作成しました

## ◆文化財保存活用地域計画とは

文化財保存活用地域計画とは、文化財保護第183条の3に位置付けられた文化財の保存と活用に関する総合的な法定計画です。中・長期的な基本方針を定めるマスタープランと具体的な事業（措置）を記載するアクションプランの両方の役割を担います。計画の実施により、地域総がかりで文化財を守り、生かし、伝え、文化財の存続につなげます。

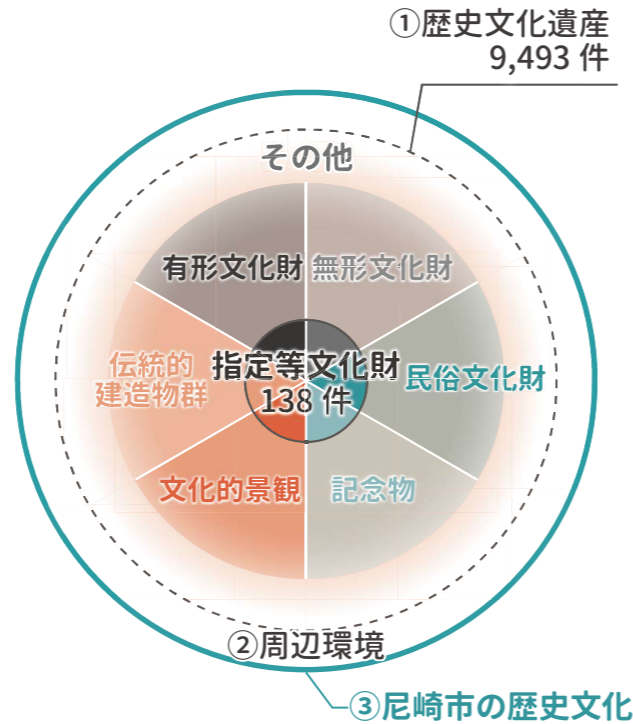
## ◆歴史文化遺産と歴史文化

尼崎市文化財保存活用地域計画で対象とする①**歴史文化遺産**とは、原則として50年を経過した文化的所産のことで、7つの類型（有形文化財・無形文化財・民俗文化財・記念物・文化的景観・伝統的建造物群・その他）に分類し、9,493件を把握しています。

そのうち、歴史上・芸術上・学術上特に価値が高いものとして、文化財保護法や条例に基づき国・県・市による指定・登録を受けているものを**指定等文化財**と呼び、138件、指定等を受けていない未指定文化財は9,355件です。

また、**歴史文化遺産**の周囲の景観や環境、歴史文化遺産を支える人々の活動、技術、記憶等、歴史文化遺産を取り巻く全ての要素を②**周辺環境**と呼びます。**歴史文化遺産と周辺環境**が一体となり育み、現代に伝えている本市の個性を③**歴史文化**と呼びます。

※件数はすべて令和7年（2025年）8月時点



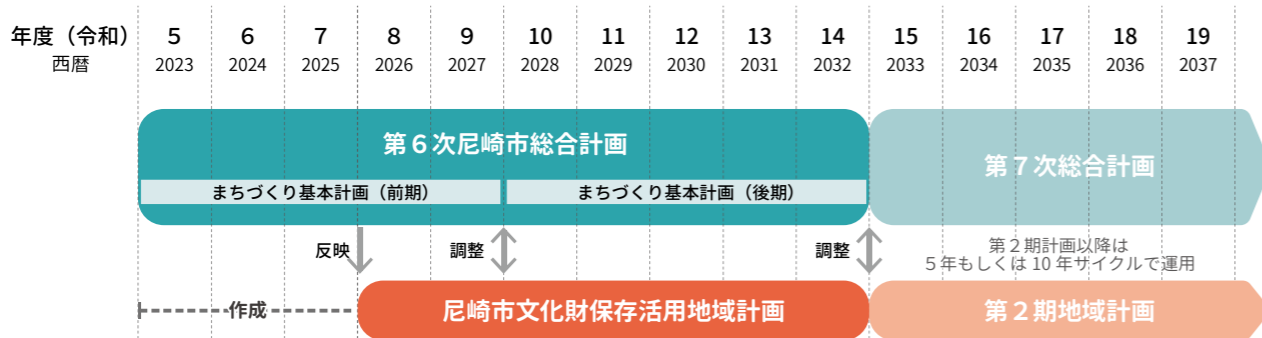
## ◆本地域計画の目的と位置づけ

歴史文化遺産は、魅力あるまちづくりや地域への愛着醸成に寄与し、第6次尼崎市総合計画で示されている本市特有の課題（ファミリー世帯の転出超過やまちのイメージと実態のギャップ等）の解消の一助となることが期待されています。そのため、本市に広がる多種多様な歴史文化遺産を適切に把握し、長期的な視点に基づき市民と共に計画的に保存・活用していくことを目的として本計画を作成しました。

なお、本計画は兵庫県文化財保存活用大綱を勘案し、第6次尼崎市総合計画を上位計画としてその他各種関連計画との整合を図りながら運用します。

## ◆計画の期間

令和8年（2026年）度から令和14年（2032年）度までの7年間とします。



・計画の進捗に合わせて適宜計画の見直しを行うとともに、総合計画等関連計画の改定時に、相互に計画内容を反映させます。  
・第2期計画以降は、総合計画の計画期間と連動して5年もしくは10年サイクルで本計画を運用していきます。

## ②各地区の歴史文化のテーマを生かした取組

- ・本市は、中央・小田・大庄・立花・武庫・園田の6地区に分かれ、地区毎に特色ある歴史文化が育まれています。地区ごとに特色ある歴史文化のテーマを設定することで、個性を生かしたまちづくりを進めるきっかけとすることを目指します。
- ・計画期間内は、各テーマに関連したリーディングプロジェクトを設定し、核とする歴史文化遺産を中心に、各地区の生涯学習プラザを拠点に市民と協働で取り組むことを想定しています。



尼崎市全体の歴史文化のテーマ  テーマ1 国内外をつなぐ水陸交通の要衝  テーマ2 村々の結束と多彩な暮らし  テーマ3 人々の心潤す“あまぶんか”  テーマ4 日本経済を支えた工都尼崎とまちづくりの実践	<b>中央地区のテーマ</b> 尼崎城・城下町の面影と工都尼崎の目覚め <b>【核とする歴史文化遺産等】</b> ・歴史博物館 ・尼ロック（尼崎閘門） ・尼崎城跡 ・旧尼崎紡績本社事務所	<b>★中央地区のリーディングプロジェクト</b> ・尼崎城の名残を探して ・工都尼崎のにぎわい体感プロジェクト ・拠点：歴史博物館
	<b>小田地区のテーマ</b> 文学薫る近松門左衛門の里 <b>【核とする歴史文化遺産等】</b> ・近松門左衛門墓 ・広濟寺 ・近松記念館 ・近松公園	<b>★小田地区のリーディングプロジェクト</b> ・「近松学習充実」プロジェクト ・拠点：近松門左衛門墓（広濟寺）
	<b>大庄地区のテーマ</b> 村野藤吾設計の村役場が語る豊かな村の歴史 <b>【核とする歴史文化遺産等】</b> ・大庄南生涯学習プラザ（旧大庄村役場） ・松原神社 ・運河群	<b>★大庄地区のリーディングプロジェクト</b> ・旧大庄村役場魅力発信プロジェクト ・拠点：大庄南生涯学習プラザ（旧大庄村役場）
	<b>立花地区のテーマ</b> 富松城跡を生かしたまちづくり <b>【核とする歴史文化遺産等】</b> ・富松城跡 ・上ノ島遺跡 ・水堂古墳 ・塚口城跡	<b>★立花地区のリーディングプロジェクト</b> ・富松ひとめぐりプロジェクト ・拠点：富松城跡
	<b>武庫地区のテーマ</b> 六樋を中心とした水路と水利の歴史 <b>【核とする歴史文化遺産等】</b> ・六樋 ・水路 ・髭の渡し ・西国街道	<b>★武庫地区のリーディングプロジェクト</b> ・「水のめぐみ」とふれあいプロジェクト ・拠点：六樋と水路
	<b>園田地区のテーマ</b> 田能遺跡を中心とした原始・古代の人々の暮らし <b>【核とする歴史文化遺産等】</b> ・田能遺跡 ・東園田遺跡 ・猪名寺廃寺 ・深田遺跡	<b>★園田地区のリーディングプロジェクト</b> ・原始・古代の暮らし発見プロジェクト ・拠点：田能資料館

各地区の活動をサポート  
 尼崎市立歴史博物館・各地域課

各地区の歴史文化のテーマの位置づけ

# 重点的な取組を進めます

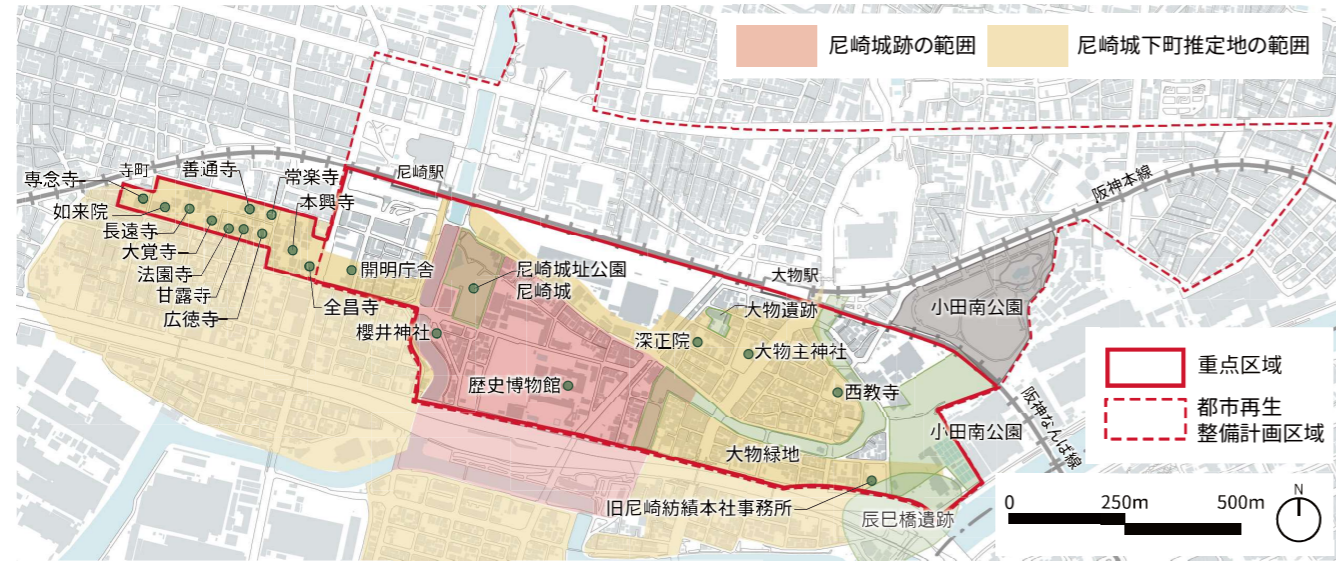
尼崎城下町を重点区域に定めるとともに、市内6地区の特色ある歴史文化を生かした取組を市民と協働で推進します。

## ①重点区域「尼崎城下町体感エリア」における取組

**区域設定** 歴史文化遺産が集積し、これまでも都市整備を重点的に推進してきた都市再生整備計画区域のうち、「寺町・歴史博物館・尼崎城・阪神尼崎駅南側・阪神大物駅南側」を「**尼崎城下町体感エリア**」とし、地域計画に基づく重点区域として位置付けます。

**歴史文化の特徴** この地域は、平安時代末期より水陸交通の要衝として多くの人・物資が行き交い、近世には尼崎城が築かれ城下町として栄え、近代以降は、工都として多くの労働者が集い、多様な娯楽・産業が展開、各時代の歴史文化遺産が集積して、本市の歴史をコンパクトに体感できます。

**取組の方針** 本区域の都市整備や景観形成の動きと連動して歴史文化を生かした空間形成を進めていくことで、歴史文化観光都市としての知名度を高めます。さらに、阪神尼崎駅・大物駅間に新たな人の流れを創出し、本市の歴史文化の魅力に多くの人に触れる機会を創出します。

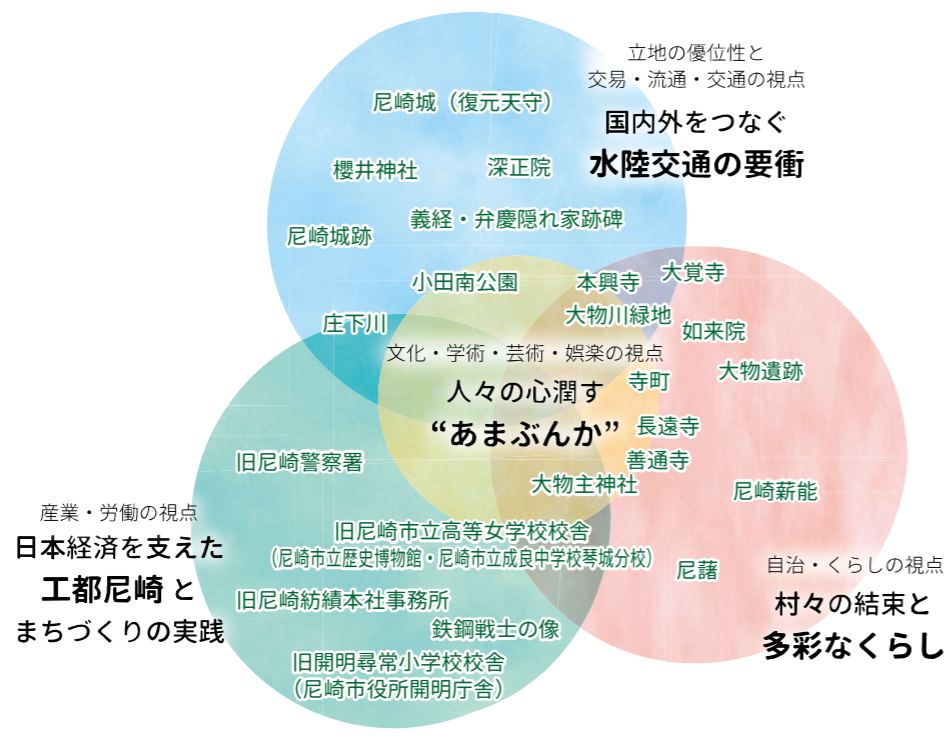


重点区域の範囲と主な歴史文化遺産

- 措置の例**
- 重点区域における取組の発信
  - 国指定文化財の保護
  - 旧尼崎紡績本社事務所の指定等に向けた取組
  - テーマ別周遊コースの設定
  - まちの移り変わりをテーマとした展示の実施
  - 寺町の歴史文化遺産の紹介

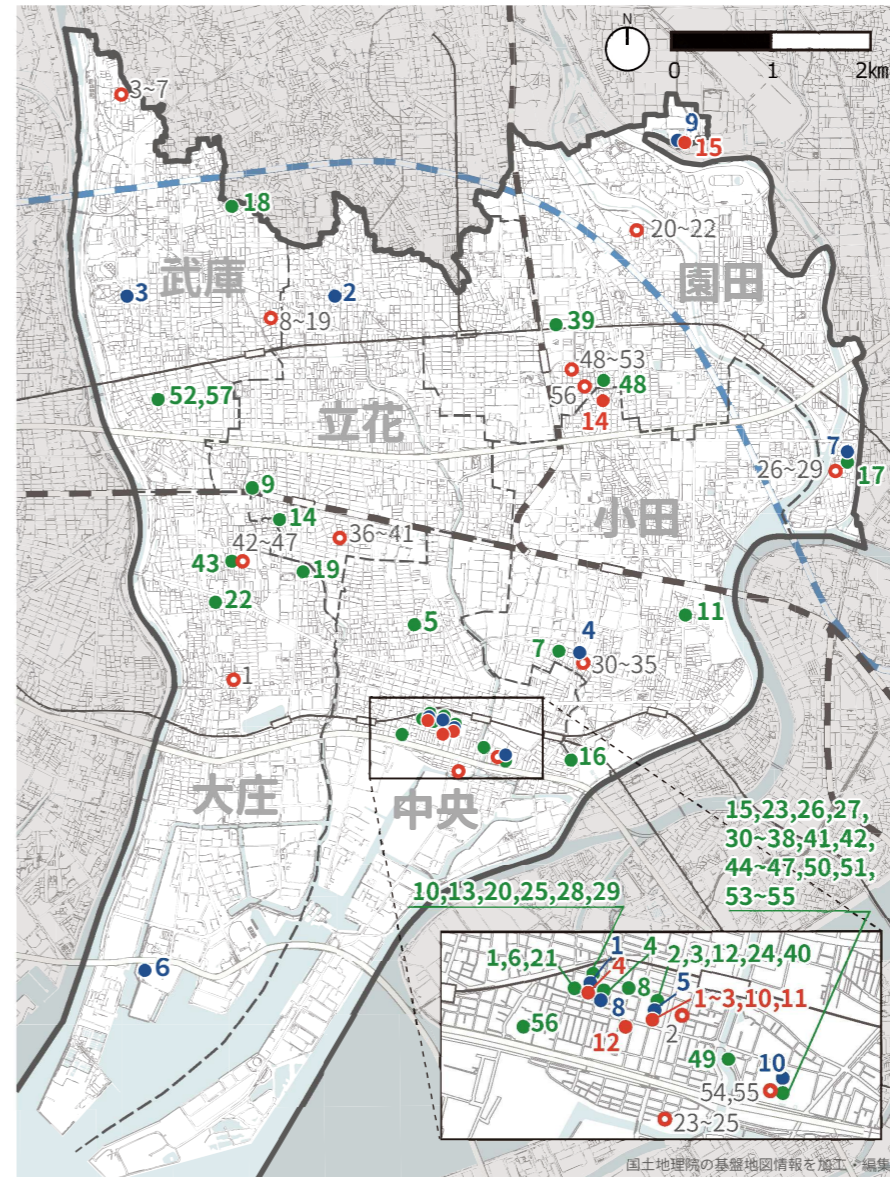


尼崎市立歴史博物館



4つの歴史文化のテーマと関連する重点区域内の歴史文化遺産

# 尼崎市の指定等文化財



- 国指定文化財
  - 県指定文化財
  - 市指定文化財
  - 国登録文化財
- ※図中番号は下の「文化財一覧」に対応(国指定個人所有を除く)

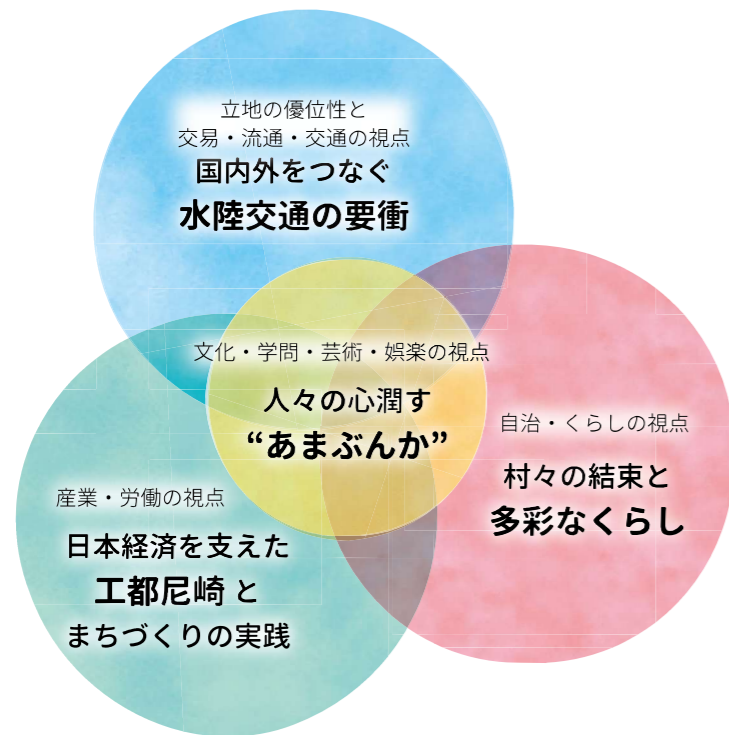
## 指定等文化財一覧 (令和7年(2025年)8月現在)

- 国指定文化財 (15件)
  - 1.本興寺 開山堂 附 棟札2枚
  - 2.本興寺 三光堂
  - 3.本興寺 方丈 附 玄関1棟、棟札2枚
  - 4.長遠寺 本堂・多宝塔 附 棟札2枚、棟札5枚
  - 5.絹本着色八字文殊菩薩及 八大童子 善財童子像
  - 6.紙本着色竹林茅屋柳陰騎路図 与 謝蕪村筆 六曲屏風
  - 7.絹本墨画 柘榴栗鼠図 松田筆
  - 8.絹本着色百衣観音図
  - 9.絹本墨画 淡彩寒江独釣図
  - 10.木造日隆上人坐像 (伝浄伝作) (開山堂安置)
  - 11.太刀 銘恒次 (名物数珠丸)
  - 12.太刀 銘守家 附 蒔絵太刀拵
  - 13.紙本墨画 九条良経消息案 (十通)
  - 14.近松門左衛門墓
  - 15.田能遺跡
- 県指定文化財 (10件)
  - 1.長遠寺 鐘楼・客殿・庫裡
  - 2.富松神社本殿
  - 3.石造十三重塔
  - 4.天満神社本殿 附 棟札1枚
  - 5.本興寺鐘楼
  - 6.旧小阪家住宅
  - 7.木造阿弥陀如来坐像
  - 8.大覚寺文書
  - 9.田能遺跡出土の遺物 銅剣鑄型片・白銅製釧・碧玉製管玉
  - 10.摂津職河辺郡猪名所地図
- 市指定文化財 (57件)
  - 1.如来院石造塔婆
  - 2.三光堂向唐門
  - 3.本興寺塔婆
  - 4.大覚寺弁財天堂 附 弁財天社(1棟)・棟札(1枚)
  - 5.八幡神社本殿 附 高欄擬宝珠(2点)
  - 6.如来院本堂・表門 附 棟札(1枚、箱入)
  - 7.吉備彦神社本殿 附 金幣(1本)
  - 8.普通寺本堂 附 紙本墨画龍図(旧内陣天井画、1面)
  - 9.石造宝篋印塔
  - 10.絹本着色涅槃図
  - 11.紙本着色浄光寺縁起図
  - 12.海北友松筆押絵貼屏風
  - 13.紙本着色日蓮大聖人註画讀
  - 14.絹本着色額如上人画像
  - 15.新曲図扇面
  - 16.絹本着色額如上人画像
  - 17.十一面観音菩薩立像
  - 18.毘沙門天立像
  - 19.木造達磨大師坐像
  - 20.罌口・雲版
  - 21.銅鐘
  - 22.豊臣秀吉木像菊桐紋蒔絵厨子・桑山重晴木像黒漆厨子
  - 23.刀 銘摂州尼崎住藤原国幸
  - 24.本興寺文書
  - 25.長遠寺文書
  - 26.杭瀬庄雑掌申状案
  - 27.東大寺領荘園文書
  - 28.日蓮書状(乙御前御書)
  - 29.日蓮筆曼荼羅本尊
  - 30.天龍寺関係文書
  - 31.寺岡家文書
  - 32.豊臣秀吉朱印状(建部寿得軒他二名宛)
  - 33.足利義詮書状
  - 34.豊臣秀次朱印状
  - 35.足利義教御判御教書
  - 36.豊臣秀吉朱印状(堀田三左衛門尉宛)
  - 37.東大寺大仏殿油納所拵注文
  - 38.六瀬頼連忠状
  - 39.御園古墳石棺
  - 40.流水文銅鐸
  - 41.水堂古墳出土品 附 封土中・封土上面出土土器
  - 42.重圓素文鏡
  - 43.板碑 阿弥陀坐像板碑・地藏立像板碑
  - 44.東園田遺跡出土イイダコ壺
  - 45.東園田遺跡出土玉杖形木製品
  - 46.武庫庄遺跡出土大型掘立柱建物柱根
  - 47.尼崎城下風景図 附 尼崎城及び城下関係資料29点
  - 48.伊佐具神社社号標石
  - 49.浅葱糸威二枚銅具足 附 桜井神社所蔵資料
  - 50.長洲天満神社絵馬 附 奉納者名木札1枚
  - 51.銀拾丸札版木
  - 52.守部観音堂関係資料
    - ・聖観音菩薩立像及び像内納入文書断簡
    - ・絹本着色十一面観音菩薩像
    - ・棟札(延宝8年5月17日銘)
    - ・罌口(延宝8年5月吉日銘)
    - ・普賢菩薩立像及び厨子
  - 53.享保元年尼崎城堀濠願図
  - 54.安永七年尼崎城石垣補修願図
  - 55.寛文十年頃尼崎城下絵図
  - 56.延宝頃尼崎城下絵図
  - 57.素盞鳴神社おかげ踊り図絵馬
- 国登録文化財 (56件)
  - 1.尼崎市立大庄公民館 (旧大庄村役場)
  - 2.尼崎市役所開明庁舎 (旧開明尋常小学校校舎)
  - 3.田近家住宅主屋
  - 4.田近家住宅衣裳蔵
  - 5.田近家住宅道具具及び油蔵
  - 6.田近家住宅米蔵
  - 7.田近家住宅長屋門
  - 8.森松家住宅主屋
  - 9.森松家住宅離れ
  - 10.森松家住宅衣裳蔵
  - 11.森松家住宅道具蔵
  - 12.森松家住宅米蔵
  - 13.森松家住宅東納屋
  - 14.森松家住宅南納屋
  - 15.森松家住宅井戸
  - 16.森松家住宅長屋門
  - 17.森松家住宅東門
  - 18.森松家住宅中門
  - 19.森松家住宅外塀
  - 20.芦田家住宅主屋
  - 21.芦田家住宅土蔵
  - 22.芦田家住宅納屋
  - 23.本田家住宅主屋
  - 24.本田家住宅米蔵
  - 25.本田家住宅乾蔵
  - 26.田中家住宅主屋
  - 27.田中家住宅土蔵
  - 28.田中家住宅東門
  - 29.田中家住宅外塀
  - 30.上原家住宅主屋
  - 31.上原家住宅納屋
  - 32.上原家住宅離れ
  - 33.上原家住宅南蔵
  - 34.上原家住宅米蔵
  - 35.上原家住宅門
  - 36.小西家住宅主屋
  - 37.小西家住宅砂蔵
  - 38.小西家住宅納屋
  - 39.小西家住宅門
  - 40.小西家住宅北築地塀
  - 41.小西家住宅石垣
  - 42.島中家住宅主屋
  - 43.島中家住宅蔵
  - 44.島中家住宅中蔵
  - 45.島中家住宅東蔵
  - 46.島中家住宅納屋
  - 47.島中家住宅切塀
  - 48.廣田家住宅主屋
  - 49.廣田家住宅北離れ
  - 50.廣田家住宅土蔵
  - 51.廣田家住宅長屋門
  - 52.廣田家住宅南塀
  - 53.廣田家住宅庭門及び塀
  - 54.旧尼崎市立高等女学校校舎 (尼崎市立歴史博物館・尼崎市立成良中学校琴城分校)
  - 55.旧尼崎市立高等女学校校門
  - 56.西正寺本堂

# 尼崎市の歴史文化は4つのテーマで表現できます

本市は、古代より都と瀬戸内・西国また世界をつなぐ流通・交易拠点としての役割を担いながら、様々な技術を持った人々の活動により、港町や城下町、工業都市等として大きく発展してきました。先人は、立地の優位性を生かしながら開拓・干拓により土地を切り開き、絆と知恵によって日々の暮らしを営んできました。また、古来、災害や戦争、社会変化等の影響を受けながらも、より良いまちの実現に向けて人々は奮闘してきました。こうして、多様な人々が暮らし、行き交う交流の中で豊かな芸能や娯楽が生まれ、人々の生活を癒し、彩ってきました。

本市の歴史文化は立地の優位性と交易・流通・交通の視点から「国内外をつなぐ水陸交通の要衝」、自治・くらしの視点から「村々の結束と多彩な暮らし」、産業・労働の視点から「日本経済を支えた工都尼崎とまちづくりの実践」、文化・学問・芸術・娯楽の視点から「人々の心潤す“あまぶんか”」の大きく4つのテーマでとらえることができます。なお、“あまぶんか”は人々のくらしや他地域との交流の中で育まれた、本市における様々な文化や学問、芸術、娯楽のことをいいます。これらの4つのテーマがお互いに関連しながら、本市らしい歴史文化を育んできました。



## 尼崎の歴史文化

土地の成り立ちを生かし、  
水陸交通の要衝として  
時代ごとに積み上げてきた  
人々の多彩な営みの歴史文化

### ◆歴史文化の4つのテーマ

1

#### 立地の優位性と交易・流通・交通の視点 国内外をつなぐ水陸交通の要衝

本市は、国内流通だけではなく、国外流通においても中国をはじめとした諸国から、九州を通り瀬戸内・西国と畿内を結ぶ重要地にあり、流通・交易の拠点として、古くから港湾都市として栄えました。時には戦場の舞台として、また都につながる要地として、大きな役割を担いました。

関連する主な歴史文化遺産



富松城跡（土塁跡）



尼崎城跡



髭の渡し跡

## 方針

- 1-I 市民主体による活動の基盤づくり
- 1-II 大学等や事業者、企業、他都市等との連携
- 1-III 文化財専門職員の配置と職員・教員のスキルアップ
- 1-IV 保存・活用に関わる財源確保

- 2-I 未調査分野の把握調査の実施
- 2-II 多様な主体と連携した詳細調査の推進
- 2-III 地域と協働した身近な歴史文化遺産の拾い上げ
- 2-IV 定期的な歴史文化遺産の現況調査

- 3-I 法や条例に基づく着実な歴史文化遺産の保護
- 3-II 市民と協働した保存の推進
- 3-III 歴史文化遺産の計画的な整備

- 4-I 観光・産業・文化振興等の各分野での活用
- 4-II 日本遺産等他都市と連携した活用の取組
- 4-III 学校教育への活用

- 5-I 市民が楽しんで歴史文化遺産の保存・活用に携わる機会づくり
- 5-II 博物館等による情報発信
- 5-III 歴史文化遺産をめぐりやすい環境整備
- 5-IV 図書館と連携した歴史文化の発信

- 防-1 歴史文化遺産の災害予防対策の実施
- 防-2 発災時の対応の明確化
- 防-3 市民との連携・協働体制の確立
- 防-4 地域の歴史文化遺産を守る拠点としての歴史博物館の機能強化

## 主な措置

- ・「みんなの尼崎大学」等の制度の活用  
みんなの尼崎大学のプラットフォーム等を活用し、市民自ら本市の歴史文化を学び、歴史文化遺産を活用したイベントの立案や、情報発信をする等、市民主体の学びと活動の循環につながるよう支援します。
- ・「文化財保存活用基金」の運用  
ふるさと納税を活用した「文化財保存活用基金」を運用し、本市所蔵の歴史文化遺産の保存・活用に役立てます。

- ・市民と協働した調査・研究  
市民ボランティアと連携し、昔の道具等の使用法の研究等を進めます。
- ・歴史文化遺産リストを活用した歴史文化遺産の現況調査  
歴史文化遺産リストに掲載されている歴史文化遺産の現況の確認をします。

- ・文化財保護法や条例に基づく指定等の推進  
特に学術的・芸術的・歴史的価値が高い歴史文化遺産について、法や条例に基づく指定等を推進します。
- ・富松城跡を活かすまちづくり委員会と協働した取組  
富松城跡を保存・活用し、次世代を担う子どもたちに引き継げるようにします。

- ・観光イベントやツアーの実施  
歴史文化を体感できる、市内外の観光客を対象としたイベントやツアーを実施します。
- ・あまがさきの歴史文化の教材化  
歴史文化遺産を活用した、小学生・中学生向けの学習プログラムを作成します。

- ・各種講座・体験・解説会の実施  
歴史博物館で水曜歴史講座・各展示会のギャラリートークや田能資料館で各展示会の解説会、図書館で尼崎市史を読む会、各地区生涯学習プラザで市民大学等、あまがさきの歴史文化に触れる機会を設けます。
- ・歴史文化遺産のデジタル化  
歴史博物館・指定等文化財所有者・管理者が所蔵する歴史文化遺産のデジタル化を進め、皆が利用しやすいようにします。

- ・消防用設備等及び防犯等設備の設置  
指定文化財を中心に消火設備、警報設備の新設・更新を勧め、防犯カメラ等設置、耐震工事等の推進を図ります。
- ・専門家と連携した歴史文化遺産レスキューの実施  
発災時に歴史文化遺産が滅失しないよう、専門家と連携して歴史文化遺産レスキューを実施します。

# 歴史文化遺産の保存・活用に取り組みます

将来像  
あまがさきの歴史文化をみんなで知って、守って、生かし、広げよう

## 目指すすがた

## 課題

### 仕組みづくり

みんなで

あまがさきに関わる多様な人々がつながり、歴史文化を支える仕組みをつくりま

- 歴史文化遺産に関する市民活動への支援が必要です。
- 産官学一体となって地域課題に取り組むことが必要です。
- 文化財専門職員の適切な人員配置と、スキルアップのための定期的な研修等を通じた資質向上が必要です。
- 歴史文化遺産の適切な保存・活用に向けた資金面の基盤整備が必要です。

### 調査・研究

知って

あまがさきの様々な歴史文化やその価値を自分たちで見つけます

- 土木構造物や無形の民俗文化財等の把握調査が不足しています。
- 各種ボランティアと協働で調査を実施しているが、今後も調査が必要です。
- 把握できた歴史文化遺産についても詳細な調査・研究ができていません。
- 歴史文化遺産の現況確認のための定期的な調査が必要です。

### 保存・管理

守って

あまがさきの歴史文化を守り次の世代へ受け継ぎます

- 必要に応じて歴史文化遺産を指定等により保護する取組が必要です。
- 歴史文化遺産の適切な収集・保存・管理の継続が必要です。
- 市民と協働して歴史文化遺産の保存を進めていく必要があります。
- 周辺環境も含めた歴史文化遺産の適切な整備が必要です。

### 活用

生かし

歴史文化を様々な場面であまがさきのまちづくりに生かします

- 歴史文化を活用し、観光客や本市に興味を持つ人の創出、新たな商品の開発や事業、それに伴う雇用の発生、地域への愛着醸成に伴う転出数の削減及び定住人口の増加等に向けた取組が求められています。
- 日本遺産事業や阪神間連携事業等、近隣市等と連携した広域的な取組を、より一層進めていく必要があります。
- 学校教育の場において、本市の歴史文化に関する学習を充実させ、地域への愛着醸成を育むことが求められています。

### 情報発信

広げよう

すべての人々があまがさきの豊かな歴史文化の魅力に触れられるようにします

- 様々な興味を持つ市民が、気軽に楽しんで歴史文化遺産に触れることのできる機会づくりが必要です。
- 歴史博物館や田能資料館等の博物館施設を本市の歴史文化の発信拠点として運営していく必要があります。
- 多様な人々が皆、安心安全に居心地よく歴史文化遺産をめぐるための環境整備が必要です。
- 図書館における本市の歴史文化の発信の充実を図る必要があります。

### 防災・防火・防犯の取組

- どのような予防対策が必要かについて検討する必要があります。
- 消防や警察等と、平時から情報共有を行う必要があります。
- 身近にある歴史文化遺産やその防災・防火・防犯の重要性の周知や、小学生・中学生・高校生を対象とした防災教育の推進等を進めていく必要があります。
- 歴史博物館が地域の歴史文化遺産を守る拠点としての役割を担っていく必要があります。

2

自治・くらしの視点

## 村々の結束と多彩なくらし

本市は古来、漁業・農業・運輸・交通・商業・工業・政治・美術等、多彩な仕事に携わる人々が生活しています。先人は、土地を切り開きながらくらしの基盤を築き、それぞれ独自のコミュニティを形成し、時に他者の力も活用しながら自治を展開してきました。本市は、今も昔も様々な生業を背景とした多彩なくらしの文化が共生している町です。

関連する主な歴史文化遺産



東園田遺跡出土イダコ壺

古写真（尼崎の出荷風景）

菰樽製造技術

3

産業・労働の視点

## 日本経済を支えた工都尼崎とまちづくりの実践

水陸交通の便が良く大都市にも近い本市は、近代化を迎え、工業都市として歩み始め、次第に「工都尼崎」と呼ばれるようになりました。工場の進出に伴い人口は激増し、電気・水道、交通や教育施設等の社会インフラも整備され、現在のまちの基盤となっています。一方で、急激な都市化は公害を引き起こし、台風や地震等の災害、戦災とともに乗り越えるべき大きな課題ともなりました。

関連する主な歴史文化遺産



旧尼崎紡績本社事務所

尼崎運河

防潮堤

4

文化・学問・芸術・娯楽の視点

## 人々の心潤す“あまぶんか”

人々のくらしや他地域との交流の中で、本市は様々な文化や学問、芸術、娯楽を育んできました。これらを総称して“あまぶんか”とします。これらは、人々の絆を深め、くらしに楽しみを添え、日々の活力となりました。“あまぶんか”は現代も本市の笑顔の源となっています。

関連する主な歴史文化遺産



素盞鳴神社おかげ踊り図絵馬

新三和・三和本通商店街南入口

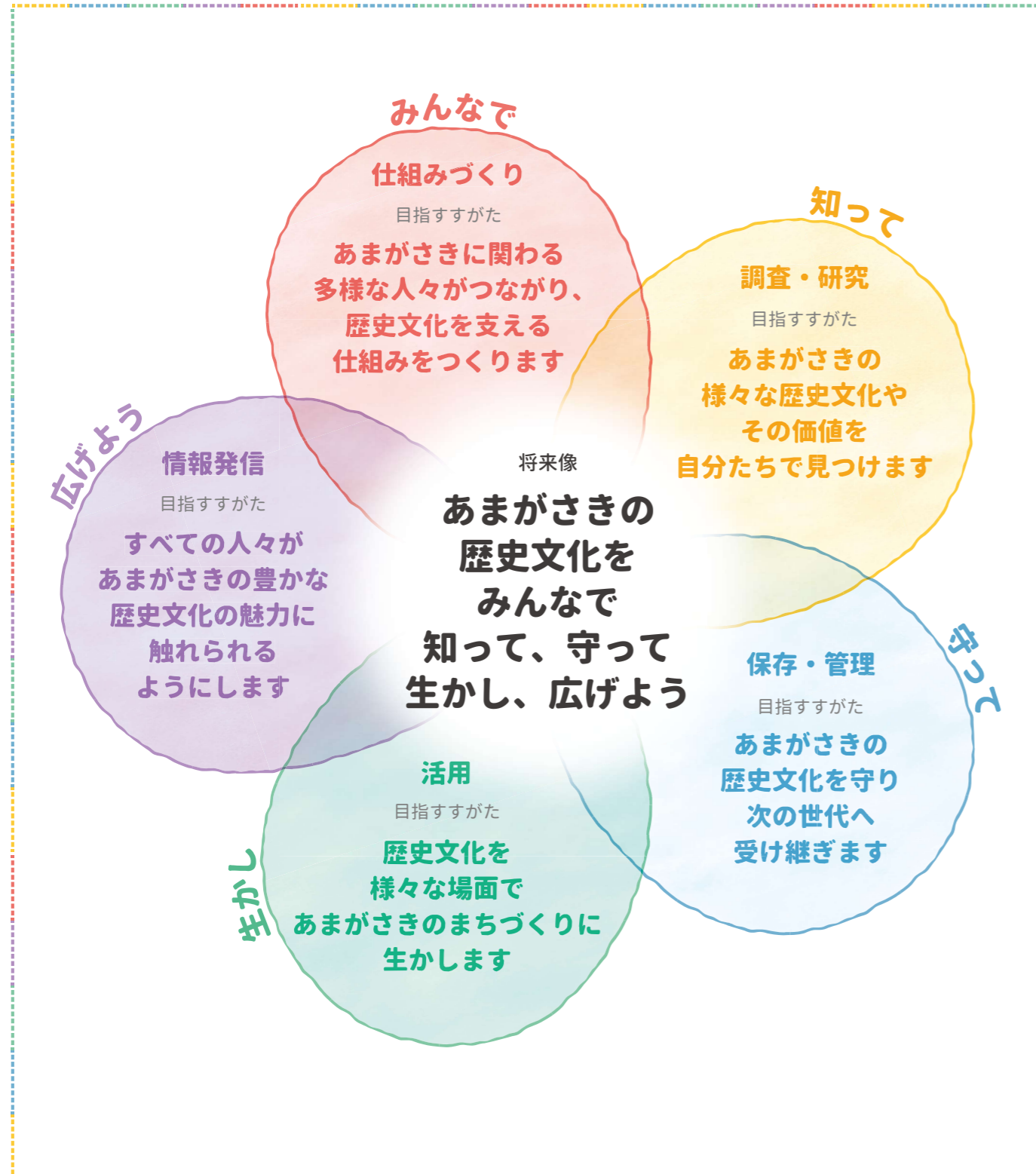
近松祭（下坂部小学校浄瑠璃クラブ・和文化クラブ）

# 尼崎市歴史文化遺産の保存・活用の将来像

「第6次尼崎市総合計画」で示した「ありたいまち」の姿「ひと咲き まち咲き あまがさき」を受けて、本計画で実現するまちの将来像を「あまがさきの歴史文化をみんなで知って、守って、生かし、広げよう」と設定しました。

この将来像の実現に向けて、「仕組みづくり」、「調査・研究」、「保存・管理」、「活用」、「情報発信」の5つの分野ごとに、個別の目標である「目指すすがた」を設定し、実現に向けて取組を推進していきます。

## 将来像と5つの目指すすがた



分野	目指すすがた
仕組みづくり みんなで	<p><b>あまがさきに関わる多様な人々がつながり、歴史文化を支える仕組みをつくります</b></p> <p>歴史文化を未来へ引き継いでいくために、本市に関わる様々な人がそれぞれの役割を認識しながら協力し合うことが必要です。この計画を通して「人々のつながり」や「財源確保」等、歴史文化遺産を支える仕組みを整えることを目指します。一人ひとりが仲間とともに「自分たちに出来ること」に取り組むことで魅力あるまちづくりにつなげます。</p>
調査・研究 知って	<p><b>あまがさきの様々な歴史文化やその価値を自分たちで見つけます</b></p> <p>本市に原始・古代から現代にいたるまで様々な歴史文化遺産がありますが、まだ気付かれていないものや価値が明らかになっていないものもたくさんあります。この計画は、様々な人が連携して調査・研究を進めていくことで、学術上・歴史上・芸術上の価値が特別高いものだけでなく、地域や市民一人ひとりにとって大切なものも含めて幅広い歴史文化遺産を拾い上げ、その価値を知ることを目指します。一人ひとりの気づきが、歴史文化を掘り下げることに繋がります。</p>
保存・管理 守って	<p><b>あまがさきの歴史文化を守り次の世代へ受け継ぎます</b></p> <p>歴史文化遺産を将来へ受け継いでいくために、保護制度の整備や日々の管理・点検から計画的な修理や整備まで様々な「手入れ」が必要です。また、歴史文化遺産を確実に守るために、防災や防犯・防火の視点も必要です。この計画は、必要な「手入れ」について整理しながら着実に取り組むことで、歴史文化遺産の価値を損なわずに将来へ受け継いでいくことを目指します。一人ひとりが、身の回りの歴史文化遺産を意識することが歴史文化を守ることになります。</p>
活用 生かし	<p><b>歴史文化を様々な場面であまがさきのまちづくりに生かします</b></p> <p>歴史文化遺産は多彩なポテンシャルがあり、これまでも、観光、都市美形成、生涯学習、学校教育、産業、国際交流等まちづくりに活用されてきました。この計画は、これまでの取組をさらに展開し歴史文化遺産の価値を高めるとともに、本市の豊かな未来につなげていくことを目指します。一人ひとりのアイデアをもとに、歴史文化を「あまがさきを楽しむ」要素として活用していきます。</p>
情報発信 広げよう	<p><b>すべての人々があまがさきの豊かな歴史文化の魅力に触れられるようにします</b></p> <p>歴史文化遺産を未来につないでいくために、多くの人々が歴史文化の魅力を知り、興味を持つことが大切です。この計画は、市内・市外・国内・国外・年齢・性別・障害の有無等に関係無く、多くの人々が歴史文化の魅力に触れ、本市を好きになり、関わる人を増やすことを目指し、一人ひとりが「尼崎市の魅力」に触れ、歴史文化を受け継ぐ仲間を増やしていけるようにします。</p>